

## 令和4年度 第2回総合教育会議

令和5年3月22日(水)午前11時より、西川町役場第1・2会議室において令和4年度第2回西川町総合教育会議を開催した。

出席者	西川町長	菅野 大志
	西川町教育委員会教育長	前田 雅孝
	西川町教育委員会委員	阿部 仁
	西川町教育委員会委員	近松 和朗
	西川町教育委員会委員	大泉 奈緒子
	西川町教育委員会委員	高橋 美保

事務局出席者	西川町総務課長	佐藤 俊彦
	西川町政策推進課長	荒木 真也
	西川町健康福祉課長	佐藤 尚史
	西川町学校教育課長	安達 晴美
	西川町生涯学習課長	奥山 純二
	西川町学校教育課主幹	佐藤 和則

### 会議次第

#### 1. 開 会

#### 2. 主催者あいさつ 菅野町長

おはようございます。

私ども町のほうも、現在第7次総合計画のパブリックコメントを募集しています。第7次総合計画8年間で、それに合わせての教育大綱ですので遠慮なく議論をいただいて、忌憚のないご意見をお願いします。

今日、配った資料は新しい政策です。経済効果は間違いなくあり、補助金も取りやすい、関係人口作りやすい、短期的な経済効果があります。保育園留学、サテライトスクール小学生は、西川の教育が全国の外から来た人がどのように感じるのか、どう評価していただくか、可視化される事業です。そうすると、全国の方からここはいいんだ、ここが改善点だとわかります。現在、そこは明確化されていません。そこを見える化することが、これからの教育大綱にも入っているかもしれないし、西川町の教育は、いいところ、魅力をしっかり伝えることができると思っています。この事業を一石三鳥で行っていきたい。新しい政策ですので、今日説明をさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

### 3. 協議事項にかかる説明・確認 教育長

#### (1) 第1回総合教育会議で説明した内容

- ・大綱、教育振興基本計画にかかる法令など
- ・本町の教育の推移と西川学園の全体構想
- ・教育大綱、教育振興基本計画にかかる国、県の施策
- ・現在取り組んでいる教育プラットフォーム西川の概要
- ・7次総合計画策定の際の町民アンケート結果

#### (2) 教育大綱の確認

現在の教育大綱、教育振興基本計画に基づて施策を展開しているが、来年度が最終年度。

新しい教育大綱、教育振興基本計画を策定するにあたっては、現在の評価をしなければならない。評価についても町民の方に示していかないとけない。

内部評価ではあるが、教育委員と事務局での評価を行った。

【資料1に基づき説明】

##### 4つの基本的方向性

町の持つ資源を生かす方向性に関する施策はおおむね成果が上がっている。

反面、未来や外に向かう人材育成については課題があるという評価

##### 8つの主要施策

町の持つ教育資源を生かし、生きる力をはぐくむ学習機会の保証は効果が見られた。

反面、自らの可能性を高め創造的な人材の育成、生涯学習、スポーツに好循環を促して活力あるコミュニティーを構築するについては、課題があると捉えている。

##### 20に重点施策

(効果が上がっていると判断するものは4つ)

###### 幼児教育の充実・・・

保小中一貫教育に取り組む中で初期の研修をしっかりと行いながら就学前の教育を大事にしていこうという考え方に立って様々な研修活動を展開している。

幼児期に重要といわれる非認知能力の育成について、保育園で子供たちの関わりをどう持たせることが大事なのかという視点で保育園でも頑張ってください、子供たちが変わってきた。

###### 町のリソースを生かした学習機会の充実

###### 感染症対策・・・

町からの配慮をいただきながら進めてきた。本町ではコロナ禍でも学びを止めないということと、水泳などは様々な感性対策をしながら積極的に進めてきた。

西川学園にかかる教育活動、教育プラットフォームの構築、通学環境

(課題があると評価したもの)

国際交流の推進

青少年育成活動の推進

図書館を核とした生涯にわたる読書活動の推進

町ぐるみで健康と活力を築くスポーツシステムづくり

策定にかかる方針、行程、組織など(第1回総合教育会議で確認済みの事項)

方針…現「西川町教育大綱」「教育振興基本計画」をふまえ、施策展開段階での町民の教育への積極的な参画を促すためにも、策定段階から対話やアンケートなどを通し、町民の声をその内容に反映する。ことを基本方針として進めていく。

策定フローアウトライン…町民アンケート調査

策定委員を構成して4回開催(第1回は6月、7月は骨格部分の確認、素案を9月に、12月に最終案を確定)

パブリックコメント

教育委員会、総合教育会議で確認

町民にご理解いただけるよう資料も整備して、周知、広報

6年度から新しい計画で展開

策定委員の構成…公募4名の含め構成

#### 4 協議(座長:町長)

##### (1) 第2次西川町「教育大綱」の策定について 教育長

策定にあたっての配慮事項…

- ・現在の大綱に、7次総合計画の理念を的確に織り込み、施策に指標となるように
- ・できるだけわかりやすく、手に取りやすいもの
- ・現大綱の9ページの冊子型の構成を、見開き4ページのパンフレット型の簡潔な構成に

##### 1ページ 教育大綱の法律上の位置づけ

根拠法令:地方教育行政の組織及び運営に関する法律

策定主体:地方公共団体の長

策定方法:国の教育振興基本計画を参酌しその地域の実情に応じて策定

範囲等:町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱

##### 2ページ 西川町教育大綱の策定にあたって

教育施策の基本方針 アクションキーワード

教育施策の重点

##### 3ページ 西川町教育の基本目標…簡潔に

西川町教育大綱策定の計画期間・令和6年度から令和9年度までの4年間

西川町教育の基本方針・総合計画の重点項目を縦軸として、5つの項目

夢と志を持ち、自らの可能性に挑戦し続ける力を育成します。

社会の持続的な発展に進んで取り組む力を育成します。

町民による次世代の育みとコミュニティの持続・発展に取り組みます

自己実現と人生に潤いをもたらす生涯学習・スポーツの好循環に向け環境を整えます。

一人ひとりを大切にする安全安心な学びの環境づくりを進めます。

これら5つの基本方針を貫いているのが「西川町が持つ自然と文化」と「デジタル技術の良さ」を融合するという考え方

4ページ 施策の体系教育振興基本計画策定の中で作成していく。

(町長)

ありがとうございます。4年計画ですね。教育で必要な人とつながる、レジリエンスを入れ込んでくれました。意見ありませんか。

(委員)

教育長から何度か説明いただいているので、意見はない

(委員)

見やすくしてシャープ

「町長の策定当たって」文章中の「西川町の「基本理念」」はなくてもいいのでは。理念は削っているの

で。

(教育長)

「基本的な考え方をまとめたものです」ということでもいいのかと思う。調整したい。

(委員)

内容はまとまって、町が目指すもの、育てていくことで大事なことが明確になっている

レジリエンスの説明書きが2・3ページの整合性がなくていいのか、合わせたほうがいいのかと思う。

(町長)

統一するか、意図があれば説明したほうが良い。

(教育長)

そうします。

(委員)

理念、目標のことは使いが気になった。より分かりやすい表現とすれば、目標、方針のほうがいいのかなと思う。

7次総合計画でも、DX、グローバル、マインドなどの単語がわかりづらいのでは、と敏感に反応していた。「デジタル技術の良さ」の言葉がどう伝わるのかな、どのように捉えるのかなと思う。もう少し入

り込んで、それによる可能性とか、子供たちにもたらすグローバルな視点とか、「デジタル技術に良さ」が、何を言っているかを読み込むのが難しいのでは。

アクションキーワードを読んでも、デジタル技術の良さの言いたいことが伝わりづらいのでは。

(教育長)

確かに言葉だけでは見えにくいことがある。

簡潔に書きたいこともあって「デジタル技術の良さ」に包含している。アクションキーワードで分かりやすく示すことは可能かと思う。施策展開するうえで、これがデジタル技術の良さなんだねと見えるようにしていくことが大切だと思う。

(町長)

ありがとうございました。

(教育長)

今意見をいただき、修正する部分は修正していきたい。

大筋でこのような考え方で、教育振興基本計画を来年度策定していく。

先ほど行程の中で触れたが、課題と捉えているのが最後のページにあるもの。

教育大綱の基本方針に基づいて、それらの施策を体系化して取り組んでいきたい。ご事務局サイドで必要なものを書いている。空欄には、町民が願っているもの、必要と思うものを今後のアンケート、対話会で捉えながら策定委員会の中で議論してこの中に柱建てしていきたい。

今後修正、削除もあると思うが、大事にしていきたいものをここに書いている。

(2) 第2次西川町教育振興基本計画の策定について

大綱の4ページ…案(事務局サイド)

町民は何を願っているのかを今後のアンケート。対話会で内容を反映させながら策定委員会を中心に策定していく。

・現在の計画はボリュームがあるが、より明快にしていきたい。合わせて、町民にとって理解しやすい資料を別につくっていく必要がある

・教育大綱も、わかりやすくリーフレットを作っていく必要があると思っている。

(町長)

ありがとうございます。教育振興基本計画はホームページに載せていますか。

(学校教育課長)

載せていません。

(町長)

振興基本計画は何に基づいて策定していますか。

(教育長)

基本計画も、地方教育行政組織及び運営に関する法律です。

(町長)

義務ですか。

(教育長)

努力義務です。

(町長)

条例では

(学校教育課長)

ないです

(町長)

では最悪なくてもいいんですね。いらぬという議論もあるわけですね。

教育大綱と教育振興基本計画の役割は何が違うのか。

(教育長)

大綱が上位で、基本計画で具体的な施策ですね。

(町長)

公表してください。

(委員)

7次総合計画策定でアンケートを取ったが、その自由記述の意見なども加味したアンケートを取るのか、基本方針に沿ってそれに対する町民のニーズを取っていくのか。

(教育長)

基本的な施策方針については、4ページの項目を選択として挙げて、何が大切と思いますか、に答えていただきたいと考えている。町民の皆さんが回答しやすいということも大切な視点。自由記述欄も作って、声を拾っていききたい。

(委員)

西川町として情報を発信していくことで、だれでも見られ、町外の方も他の自治体との比較対象になるのでは。町の移住ノパンフレットなどとの整合性が大事。アピールポイントは同じなので。

(町長)

移住パンフレット作っていますよね

(政策推進課長)

現在作っています。

(教育長)

町のホームページがわかりづらいため、町の広報を全面的に見直していこうと町長からあった。教育委員会のホームページも面白くない。

古い情報もある。心がけていきたい。見た人が得するものでなければならない。

(委員)

面白い取り組みがあれば動画でアップするのも効果的かと思う。

(教育長)

動画も地域おこし協力隊が行っていただけるのでは、と思う。その方たちの協力で動画もアップしていきたい。

(町長)

人材はいるので使ってほしい。

(委員)

文言は事務局でチェックしていくように。

大綱リーフレットを作っていくとあったが、簡潔なものを作っていくときに、教育振興基本計画との兼ね合いが重複するのか。具体的に施策がわかるように、基本計画を作っていただきたい。

HP で公開していくことを意識してほしい。紙ベースのものをオープンして、意識して作ってほしい

(町長)

私たちが使わないと見ないものになってしまう。生涯学習課長の挨拶などでも、基本計画についても触れてほしい。

## 5. その他

### サテライトスクールについて

LCA 国際小学校の子供が西川町に滞在して、こちらの子供と交流を持ったり、地域での体験活動を行ったりしながら関係人口を増やす、こちらの子供にとっても、英語で学習する子供たちとの触れ合いで新しい価値観を見出したり、向こうの人が西川町の良さを感じて改めて西川の魅力を再認識する交流となるように進めていく。

### 保育園留学

自然に恵まれた本町の保育園で子供を体験させたいというニーズに応じて民間の事業所と進めていく。保育園で受け入れ態勢を整えてきていただくこととしている。

(町長)

どちらも関係人口に係る事業で、でこれから地方創生のお金がとりやすい。5年間できる。

1年目は補助率の高い観光庁の補助金で、その後は半分もらって4年間は実施していくという継続的な事業。よかったと思っただけでなく、保育園は一人増している。

(委員)

保育園留学の受け入れ窓口は県なのか、

(健康福祉課長)

県でも保育園留学は魅力的な事業と気づいた。県でも補助金かして進めていくというアナウンスはあったが、具体的な案内は来ていない。県の動きと見ながら、どう県とかかわるか考えていきたい。

(町長)

ご質問ありますか。なければ協議は終了とします。

6. 閉会 12時03分終了